

Junior High School

中学 1

年間学習計画

2020 Syllabus



吉祥女子中学・高等学校

年間学習計画

2020 Syllabus

	「年間学習計画(シラバス)」の内容と使い方	1
	教育課程と時程	2
	国 語	3
	社 会	9
	数 学	17
	理 科	25
	英 語	33
	保健体育	41
	音 楽	45
	美 術	51
	技術・家庭	55

[参考]

〈2020(令和2)年度入学生高等学校教育課程〉

「年間学習計画(シラバス)」の内容と使い方

「年間学習計画(シラバス)」には各教科の教育課程のほか「学習の目標」「学習の内容」「学習の進め方」「学習計画」が記されていて、中学1学年から高校1学年までの各学年ごとに配布されます。高校1年生の2学期には、高校2年生からの進路選択〈文系・理系・芸術系〉に関するガイダンスがあり、各教科の内容、単位数、必修選択授業などの説明があります。その説明をふまえて、それぞれが自分の希望する系に進むことになります。また、高校2年生の2学期には高校3年生からの各教科の内容、単位数、自由選択授業などの説明があり、それぞれの進路達成に向け、科目選択を行います。また、文系は国公立文系・私立文系の選択も行います。

◎本冊子により

- ・1年間、どのようなことを学習しようとしているのか。
- ・今、学んでいることが上級学年にどのようにつながっているのか。
- ・授業がどのように行われるのか。
- ・自宅学習はどのようにすればよいのか。

などがわかります。それらについては、担当の先生から随時説明がありますので、本冊子を有効に活用してください。また、「学習計画」を見ると次の定期考査までの授業の進度がわかります。自分が勉強している項目を随時チェックして、定期考査への計画的な勉強に役立ててください。

なお、「学習計画」については、授業の進み具合や授業時数により、実際の進度とは異なり、定期考査の範囲も変更になる場合があります。

◆ 2020年度 定期考査の日程

学期	考査名	期 間	考査名	期 間
1学期	第1回定期考査	5月22日～5月25日	第2回定期考査	7月4日～7月8日
2学期	第3回定期考査	10月20日～10月22日	第4回定期考査	12月9日～12月12日
3学期	第5回定期考査	3月5日～3月9日		

◇教育課程と時程◇

〈教育課程〉

教 科	学年 科目	授 業 時 数 (週)			
		1 年	2 年	3 年	合 計
国 語	現 代 文	3	3	3	16
	古 典	2	3	2	
社 会	地 理	2	1	1	11
	歴 史 現 代 社 会	2	2	3	
数 学	数 学	4			16
	代 数 幾 何 数 学 I 数 学 A		3 3	3 3	
理 科	1 分 野	2	2	2	12
	2 分 野 生 物 基 礎	2	2	2	
保 健 体 育		3	3	3	9
音 楽		2	1	1	4
美 術		2	1	1	4
英 語	英 語	5	5	※5	19
	英 会 話	1	1	2	
技 術 ・ 家 庭		2	2	1	5
道 徳		1	1	1	3
総 合 的 な 学 習 の 時 間		2	2	2	6
特 別 活 動		1	1	1	3
合 計		36	36	36	108

*教育課程は変更することがあります。

*「総合的な学習の時間」は年間を通して週2時間相当の時数分を行います。

*中3の英語は Reading (3単位)と Grammar (2単位)に分けて行います。

〈時 程〉

	平 常	短 縮	定期考査
予 鈴	8 : 25	8 : 25	な し
朝 礼	8 : 30～	8 : 30～	9 : 15～
1 時 限	8 : 40～9 : 30	8 : 40～9 : 20	9 : 30～10 : 20
2 時 限	9 : 40～10 : 30	9 : 30～10 : 10	10 : 35～11 : 25
3 時 限	10 : 40～11 : 30	10 : 20～11 : 00	11 : 40～12 : 30
4 時 限	11 : 40～12 : 30	11 : 10～11 : 50	1 : 00～1 : 50
昼 休 み	12 : 30～1 : 20	11 : 50～12 : 30	
予 鈴	1 : 15	12 : 25	
5 時 限	1 : 20～2 : 10	12 : 30～1 : 10	
6 時 限	2 : 20～3 : 10	1 : 20～2 : 00	

国語

社会

数学

理科

英語

保健体育

音楽

美術

技術・家庭

国語

Syllabus 年間学習計画



1. 学習の目標

- ・さまざまな種類の文章を読み、その内容や要旨を的確に理解したり、鑑賞したりする能力を高める。
- ・必要な材料を基にして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高める。
- ・目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高める。
- ・詩を読み、作者の思いを読み取るとともに詩を創作する。
- ・漢字の学習を通し、正しい日本語の用法と多くの語彙を習得する。
- ・文法の学習を通し、正しい日本語の用法を習得する。
- ・百人一首や平易な古文・漢文を読み、古典の文章に慣れる。
- ・読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を養う。

2. 6力年の学習の内容

人間は「言葉」で考え生きるものであり、国語力は全教科の基幹となります。中1から高1までの4年間に、教科書のみならずさまざまな作品に触れることによって、より深い読解力、思考力、表現力を身につけることを目標としています。「現代文」については、高校生向けのテキストを副教材として使い、難度の高い優れた文章を読むことで、読解力や思考力を更に伸ばせるようにしています。また、一方的に教わるだけでなく自ら探求する姿勢を身につけるために、図書館での資料収集やグループ学習の機会を設け、読書もすすめています。「古典」の分野については、中1から百人一首をはじめ「古文」「漢文」を積極的に取り入れ、音読を重視しながら現代の国語につながる日本文化の礎を自然に感じるように配慮しています。高1では、将来いずれの方面に進むにしても必要な内容を総合的に学びます。高2からは各自の進路に応じた授業を展開し、高3では問題演習を多く取り入れ大学入試に対応できる力を養います。また、新聞記事や各種評論文にも目を向けて幅広く知識を蓄え、小論文にも対応できる力を身につけられるよう工夫をしています。

3. 学習の進め方

予習を前提として授業を進めます。「現代文」では、扱う文章をあらかじめ読み、意味調べをし、新出の漢字をノートに書き出します。授業では、最初に読んだ時の感想に始まり、必要に応じて「書く」作業をします。さらに、自分の意見を発表したり、調べ学習も行います。また、年間20回以上漢字テストを行い、語句の意味を調べてノートにまとめ、正しく的確に使用できるようにします。

「古典」の予習は、百人一首や古典の原文をノートに書き写します。授業では音読を重視し、古典の文章のリズムに慣れると共に、様々な古典常識を身につけていきましょう。

4. 学習計画（1）

教科	国語	科目	現代文	週あたりの授業時数	3時間	担当
使用教材	『中学校 国語1』学校図書 『東京都版 国語活用資料集』新学社 『的確につかむ文法の学習』浜島書店 『漢検5級～2級 常用漢字の級別学習 コンプリート 新装版』京都書房 『吉祥読本』吉祥女子中学・高等学校					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月	詩「はる」「奈々に」	・詩に込められた作者の思いを読み取り、朗読の基本を確認する。
5月	「風呂場の散髪」	・登場人物の行動や心情に着目し、物語の展開を捉える。
	「変わる動物園」	・構成を把握し、筆者の考えを読み取る。
	言葉の単位・文節の働き 【第1回定期考査】	
6月	「字のない葉書」 「トロッコ」（プリント）	・構成を把握し、筆者の考えを読み取る。 ・登場人物の行動や心情に着目し、物語の展開を捉える。
7月	他プリント教材	
1学期 予定時数 _____	文の組み立て・単語の種類・体言・動詞の活用 (活用形と活用の種類・五段・上一段・下一段) 【第2回定期考査】	
2学期 9月	「ぬすびと面」	・登場人物の行動や心情に着目し、物語の展開を捉える。
10月	「片言を言うまで」 動詞の活用(カ変・サ変)・動詞の復習 【第3回定期考査】	・構成を把握し、筆者の考えを読み取る。

11月	「少年の日の思い出」	・登場人物の行動や心情に着目し、物語の展開を捉える。
12月 2学期 予定時数 ——	「鼓くらべ」 （『吉祥読本』より） 形容詞・形容動詞と用言の活用の復習 【第4回定期考査】	・登場人物の行動や心情に着目し、物語の展開を捉える。
3学期 1月	「鼻」 （『吉祥読本』より） 「家族を「する」家」 （『吉祥読本』より）	・登場人物の行動や心情に着目し、物語の展開を捉える。 ・構成を把握し、筆者の考えを読み取る。
2月	「山椒魚」 （『吉祥読本』より）	・登場人物の行動や心情に着目し、物語の展開を捉える。
3月 3学期 予定時数 ——	副詞・連体詞・接続詞・感動詞 【第5回定期考査】	

*年間約20回漢字テストを行い、語句の意味を調べて正しく的確に漢字を使用できるようにする。

4. 学習計画（2）

教科	国語	科目	古典	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『中学校 国語1』学校図書 『東京都版 国語活用資料集』新学社 『原色 小倉百人一首（改訂版）』文英堂					

時期	単元	単元の内容
1学期 4・5月	「いろは歌」	・歴史的仮名遣いに慣れる。
	「百人一首」 【第1回定期考査】	・和歌の基本的な決まりや修辞技法、古典常識などを知り、古典の世界に親しむ。
6・7月 1学期 予定時数 ——	「竹取物語」	・歴史的仮名遣いに慣れる。 ・古文を読み味わう。
	「百人一首」 【第2回定期考査】	・和歌の基本的な決まりや修辞技法、古典常識などを知り、古典の世界に親しむ。
2学期 9・10月	「宇治拾遺物語」	・古文の基本的な読解力を身につける。
	「百人一首」 【第3回定期考査】	・和歌の修辞技法に慣れ味わい、古典の世界に親しむ。
11・12月 2学期 予定時数 ——	「故事成語」	・熟語の構成や漢文の読み方に慣れる。 ・漢文の読み方に慣れ、返り点に従って書き下せるようになる。
	「百人一首」 【第4回定期考査】	・和歌の修辞技法に慣れ味わい、古典の世界に親しむ。
3学期 1月	「百人一首」	・和歌の修辞技法に慣れ味わい、古典の世界に親しむ。
	「故事成語」	・漢文の読み方に慣れ、基本的な読解力を身につける。
2・3月 3学期 予定時数 ——	「宇治拾遺物語」 【第5回定期考査】	・構成を把握し、筆者の考えを読み取る。

社 会

Syllabus 年間学習計画



国 語

社 会

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

技術・家庭

1. 学習の目標

〈地理〉

地理は、みなさんが今生きている世界や日本のあり方を地図や統計、写真といった資料を駆使して理解し、視野を広げる科目です。

みなさんの中には「地理」＝「暗記もの」というイメージがあるかもしれません。確かに地理では地名をはじめ覚えなければいけないことが多くあります。しかし、その前に、「地理」とは、読んで字のごとく大地の理（筋道、理由）を学ぶ科目、つまり、「なぜ？」を大切に、筋道を立てて考えることがもっとも大切であり、そこにこそおもしろさのある科目であると言えます。

〈歴史〉

日本の歴史を中心として、各時代ごとに背景となる世界の歴史にも触れながら、総合的な歴史像をつくりあげることを目指します。また、歴史学習を通じて社会的な視野を広げ、現代社会を柔軟で多様な視点からとらえられるようにすることも目標とします。

2. 6力年の学習の内容

社会的な問題意識や理解、歴史的な思考力、資料の分析能力、ディベート・ディスカッションなどによる自己表現力、新聞・レポートの作成力など、単なる暗記ではなく、多岐にわたり生徒の能力を高めることを目標としています。中1・中2では「地理」と「歴史」を並行して学習しますが、基礎的レベルにとどまらず、発展的教材（地理）や独自プリント（歴史）などを用いて、高校の内容にまで踏み込んだ本格的な学習を進めていきます。また、中3では、「地理」と並行して高校レベルの副教材を併用し、現代社会の課題、女性としての生き方、民主政治と人権思想などの分野を学習します。さらに、高校では、「歴史総合」、「地理総合」、「公共」を全員が履修し、さまざまな分野の知的蓄積を通して、現代社会の諸課題を多面的・多角的に分析・考察します。その上で、進路希望に応じて「日本史探究」や「世界史探究」などを選択して学習し、総合的な社会観の育成を目指します。高3では進路選択に応じて、大学入試レベルにも十分に対応した高度な水準の授業を展開します。

3. 学習の進め方

〈地理〉

① 授業

授業は、教科書や地図帳、資料集、プリントなど、多彩な教材を使って進めます。そのため、忘れ物をしないよう十分に注意するとともに、資料を整理する習慣を身につけることが、学習の前提として非常に重要です。

また、地理では覚えなければいけないことも確かに多くありますが、それ以前に大切なのは、好奇心を大いにふくらませ、自ら学ぶ姿勢を持って、筋道を立てて考え、理解することです。

授業中は受け身でノートをとるだけでなく、積極的に関心を持ち、疑問を抱き、自分の頭で考えるように心がけましょう。また、板書を写すだけでなく、資料や先生の話を通して学んだことなどをどんどんメモするようにしましょう。

② 自宅学習

地理では、予習をするよりも復習をしっかりと行ってください。

自宅での復習では、ノートを整理したり、白地図を活用したり、疑問に思ったことや興味のわいたことについて調べたりして、授業中に「理解した」ことを「定着させる」ことが大切です。

また、地理は今の世界と日本の様子や問題を学ぶ教科ですから、日々のニュースもテレビのドキュメンタリー番組も、駅構内のポスターも世界各地の写真も、もちろんみなさん自身の旅行や日常の体験も、すべてが地理学習の機会です。

ぜひどん欲に、さまざまな場でいろいろなものを吸収し、たくさん感じて、考えて、知識や考える力を伸ばし、視界を広げていきましょう。

〈歴史〉

① 授業

書き込み式の独自のプリントを用いて、講義を中心に授業が展開されます。また、副教材として使用する資料集は原典史料の多いものを使用し、歴史の基本である原典史料に立ち返ることを重視しています。授業は週に2回しかありません。しっかり集中し、新たにわかったことや疑問に思ったことなどをメモしましょう。

② 自宅学習

授業のあった日には教科書・資料集を用いて復習しましょう（復習の仕方については、初回の授業で説明があります）。さらに歴史に親しむために、学校の図書館などにある学習漫画や小説などを読むこともいいでしょう。また、日頃から歴史に関するニュースなどには関心を持ち、例えば旅行をする際には訪問先の歴史を事前に調べておくと、歴史的な関心や理解を深めることができます。

4. 学習計画（1）

教科	社会	科目	地理	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『中学生の地理』 帝国書院 『新編 中学校社会科地図』 帝国書院 『アドバンス中学地理資料 白地図ワーク付』 帝国書院					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月	《系統地理分野（世界）》 I 地球と地図 1. 地球と地球儀 ① 地球のプロフィール ② 緯度と経度	世界の地理を学ぶために必要な、自然地理の基礎知識・原理を最初に学ぶ。また、そのことにより、地理はただ「覚える」だけの教科ではなく、「筋道を立てて考える」教科であることを認識する。 まずは、地球と地球儀に関する基本的なしくみ、用語を理解する。
5月	2. 時差	世界の標準時のしくみについて理解し、時差を計算できるようにする。
6月	II 世界の自然環境 1. 世界の地形 ① 大陸移動とプレートテクトニクス 【第1回定期考査】 ② 世界の大地形	世界の大きな地形の分布・成り立ちから火山・地震活動の分布まで、「プレートテクトニクス」によって関連づけて理解する。
7月	2. 世界の気候 ① 世界の気候のしくみ ② 世界の気候区分 【第2回定期考査】	世界各地で大きく異なる気候の基本的なしくみを学び、それをもとに世界の大きな気候区分をつかむ。 地形と気候の全体的な理解は、これ以降のすべての学習の基礎となる。
1学期 予定時数 _____		

2学期 9月	Ⅲ 国、人、社会 1. 国と領域 ① 国とは ② 領域のしくみ	世界の地理を学ぶために必要な、人文地理の基礎知識を学ぶ。 まず、そもそも国とは何か、特に領域のしくみを中心に基本事項を確認する。
10月	2. 世界の人々と文化 ① 世界の人種・民族 ② 世界の宗教 ③ 世界の人口 【第3回定期考査】	世界の多様な宗教などに触れ、世界人口の現状を把握することにより、世界地誌学習を始める上での関心をふくらませ、各地域の理解を深めるための手がかりとする。
11月	《世界地誌分野》 Ⅳ 世界の諸地域 1. 東アジア ① 中国 ② 朝鮮半島	現代世界の地理を地域ごとに学ぶ。事前に学習した自然・人文地理的基礎を十分に活用した上で、歴史的背景も加えながら、各地域の社会や産業の特徴をつかみ、問題を理解する。 東アジアは中国を中心に学ぶ。日本とは大きく異なる社会主義のしくみや、その中で中国がいかに変化し、どのような問題を抱えているかを見ていく。
12月 2学期 予定時数	2. 東南アジア 【第4回定期考査】	東南アジアでは、ASEAN（東南アジア諸国連合）地域全体としての全体像をつかむとともに、各国の特色をしっかりとおさえる。
3学期 1月	3. 南アジア	南アジアでは、インドを中心に、気候と農業の関連、宗教の違いに着目して学ぶ。
2月	4. 中央アジア・西アジア・北アフリカ	中央アジア・西アジア・北アフリカでは、乾燥気候、イスラム教、石油をキーワードに地域の特徴をつかむ。
3月 3学期 予定時数	5. 中南アフリカ 【第5回定期考査】	中南アフリカでは、植民地時代の歴史が現在のアフリカ各国にもたらしたさまざまな影響を理解した上で、南北問題について考える。

4. 学習計画（2）

教科	社会	科目	歴史	週あたりの授業時数	2時間	担当	
使用教材	『中学生の歴史』 帝国書院 『資料カラー歴史』 浜島書店 独自プリント						

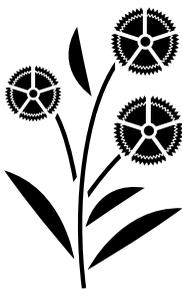
時期	単元	単元の内容
1学期 4月	オリエンテーション	現代社会と関連づけながら歴史を学ぶ意味を確認し、歴史の学習を身近に感じられるようにする。
5月	I. 古代国家の成立と東アジア (原始・古代) 1. 旧石器時代	1. 厳しい気候条件の中での人々の生活の様子をとらえ、考古学に対する関心も高める。
	2. 縄文時代	2. 生活環境の大きな変化の中で、食生活の多様化や技術の進歩、自然に大きく依存する生活の中での人々の自然崇拝の様子を学ぶ。
	3. 弥生時代	3. 稲作の本格化が大陸からの人の移動と混血にともなうものであることに留意し、金属器の使用をはじめ生活そのものが変化したことを考察する。また、それにとともなう大きな社会変化（支配者・身分の出現や集落・小国間の激しい争いなど）を中国の歴史書や考古学的成果からとらえる。
6月	4. 古墳時代	4. ヤマト王権の成立を巨大古墳や出土品、中国・朝鮮半島の史書・石碑などから学び、王権を支えた氏姓制度のシステムや渡来人を通じた大陸文化の摂取について理解を深める。
7月	5. 飛鳥時代	5. 聖徳太子（厩戸皇子）の政治、大化の改新、天武・持統天皇による律令国家建設の過程・しくみを中国・朝鮮半島との関係の中でとらえるとともに、大陸の影響を強く受けた飛鳥・白鳳文化についても学習して文化遺産に対する理解を深める。
1学期 予定時数 _____	【第2回定期考査】	

<p>2学期 9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p> <p>2学期 予定時数</p> <hr/>	<p>6. 奈良時代</p> <hr/> <p>7. 平安時代</p> <p>【第3回定期考査】</p> <p>II. 武家政治と東アジア（中世）</p> <p>1. 鎌倉時代</p> <p>【第4回定期考査】</p>	<p>6. 平城京のあり方や律令制の修正、激しい政争の概要、遣唐使による大陸文化の摂取などを学習するとともに、大陸文化の影響を受けた天平文化についても考察することで国際社会の中での日本文化の位置づけも意識する。</p> <hr/> <p>7. 天皇による律令政治の再建と、藤原氏の勢力拡張と摂関政治や上皇による院政、一方で武士の登場と台頭の様子を学び、公家政治の特色や貴族文化の発展を多面的にとらえる。</p> <hr/> <p>1. 初めての武家政権の登場と特色・展開とそれにとまなう公武二元支配の理解を中心に、元寇という外圧が幕府の衰退を早めた点に留意して学習する。また、現在にも連なる鎌倉新仏教など、文化面の変化も考察する。</p>
<p>3学期 1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>3学期 予定時数</p> <hr/>	<p>2. 室町時代</p> <p>【第5回定期考査】</p>	<p>2. 武家政権としての鎌倉幕府との相違点に注意しながら、産業・経済の著しい発展とその背景にもなった中国・朝鮮半島との関係、一揆の背景になった農村や都市の変化などに留意しながら学習を進める。</p>

数 学

Syllabus

年間学習計画



国 語

社 会

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

技術・家庭

1. 学習の目標

〈数学の考え方の良さを知ろう!〉

小学校で習った算数を基礎にして、中学校の数学の学習が始まります。

算数では、基本的な四則計算（足し算、引き算、掛け算、割り算）の方法や、「割合とは何か」「平行四辺形とはどのような図形か」など、数学を学ぶにあたって必要となる基本的な概念を学ぶことができました。

数学は、小学校までに皆さんが学んできた事柄を土台に、数の性質や図形の性質をさらに突き詰めていき、それらを様々な問題に応用しようという学問です。そのため、「なぜこのように考えるのか」「なぜこのように考えてはいけないのか」といった考え方にこだわるようになってきます。この「なぜ」へのこだわりが、算数と数学とで一番大きく違うところだといえるでしょう。

また、数学では、より一般的な方法で問題を考えていきます。ここで、『一般的な』という言葉の意味は、「特別な場合だけではなく、どのような場合でも通用するような」ということです。初めて学ぶ事柄の中には「こんな面倒なことをやらなくても、小学校で学んだ算数の解き方で答えが出るのに」と皆さんが感じてしまうものもあるでしょう。しかし、そう感じるがあっても、一度はその新しい方法に向き合い、その方法の「良さ」を見つけてください。その方法が、目の前にある問題だけでなく、その他の多くの問題を解く方法でもあるのです。

この1年は、「数学1年生」として、初めて出会う「数学の考え方」を大いに吸収してください。その考え方の良さを実感することが、今年度の目標です。そして、「考えることの楽しさ」を存分に味わいましょう。これが、数学を学習する上での一番の目標です。

2. 学習の進め方

〈予習時の疑問を授業で解決し、その日のうちに復習をして定着させる〉

数学の学習において、最低限必要で最も大切なことは、教科書の内容を十分に理解することです。教科書の内容、特に基本事項の十分な理解なくして応用力は身につけません。そこで、先につながる学習のためにも、応用力を養うためにも、次の勉強方法を勧めます。

- ①次の授業で何を学ぶのか、事前に教科書を読んで確認しておきましょう。事前に内容を把握しているかどうかで、授業で得る知識の深さが全く違ってきます。
- ②授業に集中しましょう。そして、その中で理解できないこと、疑問に思ったことがあれば、必ずその日のうちに先生や友達に質問したりして、解決することです。
- ③その日に学習した内容を、教科書やノートで見直しましょう。このとき、特にま

とめる必要はありません。まとめは、1つの単元が終わって全体が見えてきてから必要事項だけをまとめればよいです。

④問題集を利用して、その日に学習した内容が本当に理解できたかどうかを、答え合わせをしながらチェックしましょう。もし、答えや解き方について自分と違ったところがあれば、どうしてそのような答えになるのかを、教科書やノートを見て、自分なりに納得しましょう。

⑤次の日の内容を一通りのぞいておき、習ったはずなのに忘れていたことがあれば、調べておきましょう。

数学は積み重ねの学習です。以前に学習したことが定着していないと、次の授業は理解に苦しむことになります。自宅学習では、次の授業中に内容を理解できるように準備することが必要なのです。

〈問題集について〉

日々の授業の進度に合わせて、問題集に取り組み、学習したことを定着させましょう。定期考査が終わったごとに問題集ノートを提出してもらい、問題集にきちんと取り組んでいるかどうかを確認します（年5回の提出があります）。

問題集ノートを用意し、授業の範囲の問題をノートに解くようにしましょう。問題を解いたら答え合わせをして、間違えた問題はどこを間違えたのか確認をして、必ずやり直しておきましょう。ノートを提出する際にはここまでやっておくようにしてください。

問題を解くときに一番重要なことは、途中の式をかくことです。途中の式は、答えまでの道筋や自分の考え方を表現しているものですから、これをしっかりとかいていくことで、つじつまが合うように段階をふんで考えていく論理的な思考力と、それを数式で表していく数学的な表現力がついていきます。そして、答え合わせをするときには、答えが合っているか間違っているかを見るだけでなく、途中の式のどこで間違っているのかを確認します。途中の式がしっかりとかいてあれば、ただの計算間違いなのか、考え方の間違いなのかが一目瞭然です。また、間違えた問題は解き直しをすることで、学習したことがしっかりと定着していきます。問題集ノートを提出してもらうのは、このような学習の仕方がしっかりとできているかを確認するためです。

また、問題集は一度解いたら終わりではなく、何回も解いて苦手な単元を残さないことが大切です。二度、三度と繰り返し取り組んでください。

3. 学習計画 (1)

教科	数学	科目	数学	週あたりの授業時数	4時間	担当
使用教材	中学校数学 I (数研出版) 体系数学 I (代数編) (数研出版) 体系数学 I (幾何編) (数研出版) P Y X I S (代数編 I) (育伸社) P Y X I S (幾何編 I) (育伸社)					

<p>1 学期 4 月</p> <p>正の数と負の数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正の数と負の数 2. 加法と減法 3. 乗法と除法 <p>5 月</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 四則混合計算 <p>式の計算</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文字式 2. 多項式の計算 3. 単項式の乗法と除法 4. 文字式の利用 <p style="text-align: center;">【第 1 回定期考査】</p>		<p>正の数と負の数の意味を理解する 加法と減法の混ざった計算ができるようにする</p> <p>乗法、除法、累乗の計算ができるようにする</p> <p>正の数と負の数の四則計算の意味を理解し、計算できるようにする</p> <p>文字を用いた数量の表し方を理解する 同類項をまとめて多項式の計算ができるようにする</p> <p>単項式の乗法と除法を理解し、式の値が求められるようにする</p> <p>文字式を利用して、数の性質の説明や規則性の表現ができるようにする</p>
<p>6 月</p> <p>方程式</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 方程式とその解 2. 1 次方程式の解き方 3. 連立方程式 4. 1 次方程式の利用 連立方程式の利用 <p>不等式</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不等式の性質 2. 不等式の解き方 <p>7 月</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 不等式の利用 4. 連立不等式 <p style="text-align: center;">【第 2 回定期考査】</p> <p>1 学期 予定時数 _____</p>	<p>方程式</p> <p>方程式を解くために等式の性質が利用できるようにする</p> <p>1 次方程式の解き方を理解し、利用できるようにする</p> <p>連立方程式とその解き方を理解し、連立方程式を解けるようにする</p> <p>文章題を、1 次方程式や連立方程式を利用して解けるようにする</p> <p>不等式</p> <p>不等式の意味とその性質を理解する</p> <p>1 次不等式の解き方を理解し、利用できるようにする</p> <p>文章題を、不等式を利用して解けるようにする</p> <p>連立不等式とその解き方を理解し、連立不等式を解けるようにする</p>	

<p>2学期 9月</p>	<p>平面図形の基礎</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平面図形の基礎 2. 対称な図形 3. 図形の移動 4. 面積と長さ <p>空間図形</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いろいろな立体 	<p>直線、線分、半直線など、図形に関わる基本的な用語の定義を理解する 線対称や点対称の図形の性質を理解する 平行移動、回転移動、対称移動について理解する 円の面積と周の長さの求め方を理解し、求められるようにする</p>
<p>10月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 2. 空間内の平面と直線 3. 立体のいろいろな見方 4. 立体の体積と表面積 <p>図形と合同</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平行線と角 2. 多角形の内角と外角 3. 三角形の合同条件 4. 証明の進め方 <p style="text-align: center;">【第3回定期考査】</p>	<p>正多面体の種類とその基本的な性質について理解する 空間における平面と直線の位置関係、2直線の位置関係を理解する 立体の切断面や投影図、展開図を理解し、読み取れるようにする いろいろな立体の体積と表面積を求められるようにする</p> <p>対頂角・同位角・錯角と平行な2直線の性質を理解する 多角形の内角と外角の性質を理解し、角の大きさを求められるようにする 合同な図形の性質と三角形の合同条件について理解する 証明の進め方について理解する</p>
<p>11月</p> <p>12月</p> <p>2学期 予定時数</p>	<p>三角形と四角形</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 二等辺三角形 2. 直角三角形の合同 3. 三角形の辺と角の大小 4. 平行四辺形 5. 平行線と面積 <p style="text-align: center;">【第4回定期考査】</p>	<p>二等辺三角形の性質を理解し、利用できるようにする 直角三角形の合同条件について理解する 三角形の辺と角の大小関係の性質を理解する 平行四辺形の性質を理解する 平行線には含まれる図形の面積の関係について理解する</p>

<p>3学期 1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>3学期 予定時数 _____</p>	<p>1次関数</p> <p>1. 変化と関数</p> <p>2. 比例とそのグラフ</p> <p>3. 反比例とそのグラフ</p> <p>4. 比例、反比例の利用</p> <p>5. 1次関数とそのグラフ</p> <p>6. 1次関数と方程式</p> <p>7. 1次関数の利用</p> <p>【第5回定期考査】</p>	<p>関数の意味を理解し、2つの数量の関係を読み取れるようにする</p> <p>比例の関係と座標について理解し、比例のグラフをかけるようにする</p> <p>反比例の関係を理解し、反比例のグラフをかけるようにする</p> <p>比例や反比例のグラフを用いて、いろいろな問題を解けるようにする</p> <p>1次関数について理解し、そのグラフをかけるようにする</p> <p>連立方程式の解とグラフの関係を理解し、2つのグラフの交点の座標を求められるようにする</p> <p>1次関数のグラフを利用していろいろな問題を解けるようにする</p>
---	---	--

理 科

Syllabus 年間学習計画



国 語

社 会

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

技術・家庭

1. 学習の目標

理科では、私たちの身の回りの自然の物事・現象がどのようになっているのか、どのような法則に基づいているのかについて知ることが目標です。自然現象についての理解を深めるためには、まず身の回りの自然の物事・現象に興味を持ち、意欲的にそれらに接する必要があります。そのため、教科書に書いてあることをただ読んだり覚えたりするだけではなく、実験や観察などの「実体験」を大切にしましょう。目的意識を持って実験や観察を行うことで、身の回りの自然現象を実証的にまた論理的に考える力が身につく、また客観性のある、科学的な分析をする力が養われます。そのため前提として、観察・実験の基本操作と習得はもちろんのこと、それらの過程や結果のまとめ方、結論の導き方や表現の仕方も学習します。さらに、基本的な概念や原理・法則の理解、基本的な知識の定着も図ります。

2. 6力年の学習の内容

身近な自然現象に興味を持ち、知識・観察力を活用して、ものごとを科学的に思考できる人間の育成を目指しています。そのため中学から実験・実習を数多く取り入れ、「実体験」から得られる情報をもとに思考を発展させ、「得られた結果から科学的に優れた考察を展開できる能力」が身につくよう指導しています。実験にはレポートの作成を課しており、論理的に表現する力を養うとともに、大学入試の論述問題対策にもなっています。さらに、進歩の著しい自然科学の分野で重要かつ基礎的な知識をより効率的に深く学習するため、中学・高校の内容を整理・統合し、中学では必要に応じて高校の内容を取り入れて授業を進めます。高1までに理科の基本を一通り学習した後、高2以降は各自の進路目標の達成に向けて、より発展的な学習につなげていきます。実験の内容もより専門的になり、大学入試問題を解く力に加えて、自然科学を探究する姿勢を養っていきます。

〈中1〉

〔1分野〕

1学期は、「身のまわりの物質」を学習します。私たちの身のまわりの物質について観察、実験することで、物質の性質やその変化の調べ方の基礎を学んでいきます。2学期および3学期前半は「電気の世界」を学習します。電流と電圧の関係やオームの法則、電流と磁界の関係について学び、簡単な回路において諸量を求める演習を行います。3学期後半は「力の世界」を学習します。物体にはたらく様々な力とその表し方について学び、物体に対して一直線上に複数の力がはたらいて静止している場合について考えていきます。

理科では多くの実験・実習を行います。実験や観察の基本的な技術として、測定器

具やガスバーナーなどの正しい操作方法や、測定値の読み取り方などを習得します。これらは実験を安全に行う上でもとても重要です。また、実験や観察結果の記録方法、結果のまとめ方、表やグラフの書き方など、客観的・論理的な表現方法の基礎を身につけます。実験の後は、得られた結果をもとに考察し、その内容をわかりやすく、かつ正確に表現する基本技術も学習していきます。

〔2分野〕

1学期は「植物の世界」を学習します。身近な植物を観察し、植物の体のつくりとはたらきや、その生活について理解していきます。2学期は「大地の変化」を学習します。私たちが暮らす大地がどのように活動し、変化しているのか考えます。3学期前半は「動物の分類」を学習します。動物がもつ特徴に注目して、それらを分類する方法について学びます。3学期後半は「光の世界」「音の世界」を学習します。光や音の性質や規則性などについて学び、身近な現象に目を向けていきます。

1分野と同様、2分野の授業でも実験・実習を多く行います。1、2学期の実験では、特に観察を中心に行い、顕微鏡の正しい使い方やスケッチ作成の基本的な技術などを習得します。

3. 学習の進め方

まずは、身近な物質や生物、身のまわりで起こる様々な現象に対して目を向けるところから始めましょう。そして、小さなことでも構わないので「何故だろう」というような疑問をもってみてください。自ら目的意識をもって理科の学習を行うことで、科学的思考力が養われていきます。

授業には積極的に参加しましょう。黒板やプリント等にかかれていないような説明も聞き逃さず、ノートに書き取ってください。授業後は、教科書やノートなどを読み返しながら基本的な知識を覚えるのはもちろんのこと、考え方も含めて理解するようにしましょう。その際、周囲の人たちと授業の内容について話し合ってみるのも良いです。様々な考え方や意見を聞くことで、自分自身の考えもより深まっていきます。

実験・実習にも意欲的に取り組みましょう。実験中は班員と協力して活動し、互いに意見を交わしながら進めていくことも大切です。実験後は、得られた結果や考えた内容をもとに実験レポートを作成することで、科学的に優れた考察を展開できる能力が少しずつ身につけていきます。

また、学習した内容を定着させるためには、問題演習に取り組むことも大切です。問題を解くことで、基本的な知識が身につけているかが確認でき、自分の考え方の間違いなどにも気づくことができます。自宅学習の時間を利用して、ぜひ問題集に取り組んでいってください。

4. 学習計画 (1)

教科	理科	科目	第1分野	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『新しい科学1』『新しい科学2』東京書籍 『グラフィック理科資料集』新学社 『中学校の理科 第1分野 物理・化学』教育開発出版					

時期	単元	単元の内容
1学期 4・5月	「身のまわりの物質」 身のまわりの物質とその性質 物質の調べ方・見分け方 【第1回定期考査】	いろいろな物質の性質とその調べ方、 また物質の変化について基礎的な内容を 学ぶ。 [実験] 測定器具やガスバーナーの使い方 [実験] いろいろな物質の性質を調べる
6・7月 1学期 予定時数 _____	物質の姿と状態変化 気体の性質 水溶液の性質 【第2回定期考査】	[実験] ナフタレンの温度変化 [実験] 二酸化炭素・酸素の性質 [実験] 水溶液の種類の設定・再結晶
2学期 9・10月	「電気の世界」 回路に流れる電流 回路に加わる電圧 電圧と電流と抵抗（オームの法則） 合成抵抗 【第3回定期考査】	電流の基本的な性質を学び、いろいろ な回路の電流、電圧の関係について学ぶ。 [実験] いろいろな回路 [実験] 回路を流れる電流 [実験] 回路の各部分にかかる電圧 [実験] 抵抗にかかる電圧と電流の関係
11・12月 2学期 予定時数 _____	電流による発熱（ジュールの法則） 静電気と電流 電流がつくる磁界 電流が磁界から受ける力 【第4回定期考査】	電流と発熱量、電流がつくる磁界につい て学ぶ。 [実験] 電流がつくる磁界 [実験] 電流が磁界から受ける力

<p>3学期 1月</p> <p>2・3月</p> <p>3学期 予定時数 _____</p>	<p>電磁誘導</p> <p>「力の世界」</p> <p>日常生活の中の力 力の表し方 力のつりあいと作用・反作用 力のつりあいの式 圧力</p> <p style="text-align: center;">【第5回定期考査】</p>	<p>電磁誘導の現象について学ぶ。 [実験] 電磁誘導</p> <p>物体にはたらくいろいろな力について学ぶ。また、物体に対して一直線上に複数の力がはたらいて静止している場合の力のつりあいについて学ぶ。</p> <p>[実験] 水圧</p>
---	--	--

4. 学習計画 (2)

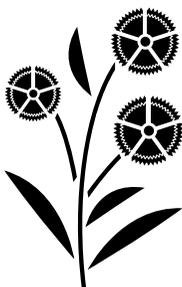
教科	理科	科目	第2分野	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『新しい科学1』『新しい科学2』東京書籍 『グラフィック理科資料集』新学社 『中学校の理科 第2分野 生物・地学』教育開発出版					

時期	単元	単元の内容
1学期 4・5月	「植物の世界」 花のつくりとはたらき 葉のつくりとはたらき 根と茎のつくりとはたらき 【第1回定期考査】	花、葉、根、茎など、植物の基本的な構造や、光合成や呼吸などのはたらきについて学ぶ。 [実験] 春の七草、ナデシコの花の観察 [実験] イチゴ・エンドウの果実の観察 [実験] 葉と茎の観察
6・7月 1学期 予定時数 _____	葉と光合成 植物と呼吸 植物の分類 【第2回定期考査】	[実験] 光合成と呼吸
2学期 9・10月	「大地の変化」 火山の姿 火山が生み出す物 火山活動と岩石 地震のゆれの伝わり方 地震が起こるしくみ 【第3回定期考査】	火山活動や地震の起こる仕組み、さらに地層や化石の成り立ちを学習し、私たちの大地の歴史と変化の仕組みについて学ぶ。 [実習] 山の形と等高線 [実験] 火山灰と火成岩の観察
11・12月 2学期 予定時数 _____	地層のでき方 堆積岩 地層や化石からわかること 大地の変動 地層で調べる大地の歴史 【第4回定期考査】	

<p>3学期</p> <p>1月</p> <p>2・3月</p> <p>3学期 予定時数</p> <p>—————</p>	<p>「動物の分類」</p> <p>セキツイ動物 無セキツイ動物</p> <p>「光の世界」</p> <p>物の見え方 光の反射・屈折・全反射 凸レンズの性質 凸レンズによる像のでき方</p> <p>「音の世界」</p> <p>音の伝わり方・音を伝える物体 音の伝わる速さ 音の大きさと高さ</p> <p>【第5回定期考査】</p>	<p>動物の分類について学ぶ。</p> <p>[実験] スルメイカの解剖</p> <p>光や音の性質や、規則性などについて学 ぶ。</p> <p>[実験] 光の反射と屈折 [実験] 凸レンズによる像のでき方</p>
---	--	---

英 語

Syllabus 年間学習計画



国 語

社 会

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

技術・家庭

1. 学習の目標

- ①英語の4技能「読む・書く・聴く・話す」を総合的に身につける。
- ②国際語としての英語を通じて、コミュニケーション能力の基礎を身につける。
- ③中学では日常的な事柄について英語で意思疎通ができるようになる。
- ④高校では時事問題・国際問題・その他のやや専門的な話題についても、4技能を駆使して、国際社会で英語を使って活躍できる高度な英語力を身につける。
- ⑤難関大学の入試に十分対応できる英語力を身につける。
- ⑥各学年の具体的な目標

以下のそれぞれの項目について理解し、さらに表現・説明をすることを目標とする。

<中1> ・身のまわりの人や物に関しての、現在・進行中・過去のできごと

・200～300語程度の会話文やエッセイへの内容理解と要旨説明

<中2> ・時間的關係や理由、目的、条件をふまえた過去、現在、未来のできごと

・ものの特徴の比較や違い

・400～500語程度の異文化や環境問題に関する文章への理解と意見の発信

<中3> ・過去に視点をおいた活動や状況

・様々なパターンを用いての物や人物に関する説明

・600～700語程度の社会、文化、科学などの分野に関する論説文やエッセイ、物語などへの内容理解と要旨説明

・関連トピックについて調べた内容のグループや個人での発表

2. 6力年の学習の内容

初めて英語を本格的に学習する中1では、音声面を大切に、英語の耳を育てる音声・発音指導から始まり、基礎を丁寧に学ぶことから取り組みます。

中1から中3の前半では中高一貫校用教材 New Treasure シリーズを、中3の後半からは高1用検定教科書 Landmark シリーズを使用して、文法、語彙、読解、作文の力を段階を追って伸ばします。表現力を養うためにスピーチ作成や発表も行います。英語らしい表現に日々触れながら会話力やリスニング力を向上させるため、NHK ラジオ講座『基礎英語』シリーズを聞きます。

吉祥では日々の学習の積み重ねを大切にしていますが、そうして培った英語力を校内の定期考査だけではなく外部試験でも証明するために、英語検定や中2から校内で受験する GTEC に関して、自分の具体的な目標を掲げ、また試験後は各自の結果の活用をするように奨励しています。

高校では中学で身につけた基礎力をもとに、「コミュニケーション英語」、「英語表

現」の授業において、さらに4技能をバランス良く向上させるための授業を展開します。中学3年間を通じて多くの教科での学習を通じて得た人文科学、社会科学、自然科学などの幅広い知識や興味を生かし、専門的な文章を読み、意見を記し、発表し合っていくことを目標に学習します。高校2年生の後半からは本格的な入試問題対策も始まり、各自の目標とする進路達成のために高度な英語力を身につけます。

3. 学習の進め方

① 授業

中1・中2は、週に「英語」を5時間と「英会話」を1時間、中3では「英語」を5時間と「英会話」を2時間の授業を行います。小テストも頻繁に行い、学習内容の定着を目指します。「英語」では4技能を関連づけて総合的に身につける学習を、「英会話」ではクラスを2分割した少人数授業で「聴く・話す」をより重視した学習をすすめます。中1・中2はネイティブ教師、中3は日本人教師とネイティブ教師が担当します。

② 補習

中学では全学年で基礎力の定着をはかるため補習(無料)を行っています。定期考査の成績による指名制です。学期中は週に1回、学期末には1回の補習が行われます。

③ 自宅学習

予習・復習を重視しています。予習を前提として授業は進められ、学力の定着に復習は不可欠となります。復習として中学では音読練習・書取練習・ワークブックや問題集によるドリル練習が課されます。確かな自宅学習の取り組みが必要となります。

④ NHKラジオ講座

中学では「基礎英語1～3」を必須とし、テキストを教材として購入してもらいます。小テストや定期考査で確認テストをします。

⑤ 辞書指導

中学のテキストには巻末に語彙リストがついており、中学入学時は、まだ辞書を購入する必要がありません。辞書指導は中1の2学期に授業内で行われます。意味のみならず、発音、品詞、用例など、様々な用途で辞書を使いこなすための基本を学びます。その頃に合わせて、高校まで使える紙の辞書を購入することをお勧めします。

〈その他の英語科での取り組みについて〉

① 英検・GTEC

英語の外部検定試験を積極的に受けましょう。

授業を通じて伸ばした英語力を外部の試験により証明することはとても大切です。吉祥では、全員が高校3年生に進級する前までに英検2級、あるいはそれ以上の級を取得することを目標にしています。各学年での目標は以下の通りです。

- ・ 4級（中学2年程度）：中1の3学期までに
- ・ 3級（中学卒業程度）：中2の3学期までに
- ・ 準2級（高校2年程度）：高1の3学期までに
- ・ 2級（高校卒業程度）：高2の3学期までに

校内では1月に英検3級（中1・中2対象）、英検2級（中3～高2対象）のそれぞれ一次試験を行います。9月には、中2から高1の全員が校内でGTECを受検します。英検やGTEC、TOEIC等の試験結果は大学試験の際にも自らの英語力の証明として今後益々重要になります。

② リーディング・マラソン

英語の読解力を高めるために図書館と連携して英語の本を積極的に読むことを勧めています。

図書館には英語の本が約2000冊あります。読んだページ数に応じて記録用紙にスタンプを押していきます。各到達目標は次の通りです。

クォーター：300 ページ ハーフ：600 ページ フル：1200 ページ

目標達成者には全員に Certificate（認定証）を発行します。

各学年の最多達成者には Reader of the Year Award（チャンピオン賞）も授与されます。

③ 国際交流

中3で、希望者対象のカナダ語学体験ツアーがあります。毎年ほぼ全員が参加します。姉妹校QMSを訪問し、交流活動を行い、ホームステイ体験をします。

④ その他

中学3年間で、「英語」・「英会話」において最も優秀な成果を修めた1名に、中学卒業式にてカナダの姉妹校より「QMS英語賞」が授与されます。

4. 学習計画

教科	英語	科目	英語 英会話	週あたりの 授業時数	英語 5時間 英会話 1時間	担当
使用教材	『New Treasure 1 (Second Edition)』 テキスト・CD・ペンマンシップ・文法問題集 以上 Z会出版 『NHK 基礎英語1』NHK 出版 英会話プリント用ファイル					

●英語について

- ・「英語」は日本人教師が担当する。
- ・各レッスン、Key Points の暗唱書取テスト・例文書き取りテストなどを行う。
- ・各レッスン終了時にレッスンテスト（リスニングを含む）を行う。
- ・基礎英語は日本人教師の授業の中で適宜確認テストを行う。
- ・語彙総復習テストを適宜行う。
- ・学期中および長期休暇中に、文法問題集を使用する。
- ・授業で扱わないReadは長期休暇中の課題となる。

●英会話について

- ・「英会話」はクラスを2つに分け、少人数グループをネイティブ教師が担当する。
- ・「英会話」の学習計画は、「英語」の学習計画に準じる。
- ・「英会話」では主にテキストのCommunicationと発音部分を扱う。
- ・「英会話」では、毎回の発表と学期末の面接テスト（中1は2学期から）により評価を行う。

- 成績は、「英語」・「英会話」それぞれ別々の科目として評価される。

【英語】

時期		単元	単元の内容
1学期 4月		アルファベット 英単語、英語の挨拶 英語の音と文字	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットを発音する／書くことができる ・数字や曜日・月、身のまわりの物などの英単語を発音する／書くことができる ・英語で挨拶をすることができる
5月	L1	be 動詞の文（現在形） I am / you are / this is / that is / it is 否定文・疑問文	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や身のまわりの人の名前、出身地などについて表現／理解することができる ・近くや遠くの人や物を指して表現することができる
	L2	be 動詞の文 人称代名詞（主格、単数） He is / She is 形容詞 疑問詞 what/who	<ul style="list-style-type: none"> ・人称代名詞を使い、身のまわりの人の紹介ができる ・人や物の性質や状態、特徴を表現／理解することができる ・正体のわからない物や人について尋ねることができる
【第1回定期考査】			
6月	L3	一般動詞の文 （1・2人称単数、現在形） 否定文・疑問文 人称代名詞 （所有格・目的格、単数）	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や相手の習慣・好きなものについて表現／理解することができる
	L4	単数と複数 名詞の複数形 疑問詞 how many 人称代名詞（複数形）	<ul style="list-style-type: none"> ・複数形を用いて好きなものなどについて表現／理解することができる ・人や物の数について表現／理解することができる ・人や物の数について尋ねることができる
7月 1学期 予定時数			【第2回定期考査】

2学期 9月	L5	一般動詞の文 (3人称単数現在) 否定文・疑問文 疑問詞 where/when	・まわりの人の習慣や好きなものについて表現／理解できる
10月	L6	疑問詞 whose / how+ 形容詞 / which / what+ 名詞 所有代名詞	・ある物の持ち主について表現／理解できる ・物の高さや長さ、量などについて表現／理解できる ・複数のなかから選択を求める質問をすることができる
【第3回定期考査】			
11月	L7	命令文 (一般動詞、be動詞) canを用いた文	・相手にある動作をさせたり、禁止したりできる ・できることやできないことについて表現／理解できる
12月	L8	現在進行形	・起こっている最中の動作について表現／理解できる
2学期 予定時数 _____	【第4回定期考査】		
3学期 1月	L9	一般動詞の過去形 (規則動詞、不規則動詞)	・過去のできごとについて表現／理解できる
2月	L10	be動詞の過去形 過去進行形 特別用法のit	・過去の状態や、過去にあるものがある場所に存在していた事実を表現／理解できる ・過去のある時点で起こっていた動作について表現／理解できる ・時刻や天候について表現／理解できる
3月	L11	be going to 疑問詞 how / why / how long / how often	・未来の予定について表現／理解できる ・ある行動の理由や方法を尋ねる／答えることができる ・ある動作を行う期間や頻度を尋ねる／答えることができる
3学期 予定時数 _____	【第5回定期考査】		

【英会話】

時期	単 元	内 容	実施	
1 学期 4 月	Lesson 1	Self introduction, Class exercise Greetings Exercises, NT1 pp.12-13		
	5 月	Lesson 2 Birthday, NT1 pp.14-16 Spelling, numbers		
	6 月	Lesson 3 Likes, brothers and sisters Exercises		
	7 月	Lesson 4	Can you ____? Time	
		Review	Review for final test, Practice	
		Test	Final presentations as test	
	1 学期 予定時数	Exercise	Make-up tests, return tests, Listening exercise	
2 学期 9 月	Lesson 5	Summer Vacation, Where do you live? Day, Date, Jobs + Exercises		
	10 月	Lesson 6 How many CDs do you have? At a fast food restaurant		
	11 月	Lesson 7 What is he doing? On the telephone.		
	12 月	Lesson 8	Last weekend + Directions	
		Review	Review for final practice test	
		Test	Test in pairs	
	2 学期 予定時数	Exercise	Make-up tests, return tests, Listening exercise	
3 学期 1 月	Lesson 9	New year's vacation + weather		
	2 月	Lesson 10 Future plans + How do you come to school?		
	3 月	Lesson 11	Borrowing things + Review	
		Test	Test in pairs	
	3 学期 予定時数	Exercise	Make-up tests, return tests, Listening exercise	

保健体育

Syllabus

年間学習計画



国語

社会

数学

理科

英語

保健体育

音楽

美術

技術・家庭

1. 学習の目標

〈保健〉

自立した女性を目指すためには自分のことをよく知らなければなりません。保健ではこころとからだの正確な知識を身につけることに主眼を置いています。自分のこころとからだを見つめることができれば、こころの健康や体調面をコントロールすることができるからです。保健では中1から「性」の分野を段階的に学習します。自立した女性にとって、自らの「性」を肯定的に受け入れて生きることが、何よりも大切だと考えています。

〈体育〉

社会に貢献するためには積極性と協調性が必要です。また良好なライフワークバランスが求められる現代、余暇を充実させるためにスポーツの役割はこれまで以上に大切になってきています。体育ではスポーツに自ら積極的に取り組むことにより、楽しみながら基礎体力を養い、他者と協力していく力を養います。このため各種目は生涯スポーツを見据えたものになっています。

2. 学習の内容

〈保健〉

中1では、「人間のからだのしくみ」を中心に学習します。中3では「けがや病気の予防」及び「喫煙や薬物の影響」について学習します。中1・中3とも「性」に関わる分野が含まれますが、科学的にアプローチすることにより正確な知識が身につきます。

〈体育〉

	1学期	2学期	3学期
1年次	吉祥体操・基礎運動・水泳	ネットボール・水泳	卓球
2年次	マット運動・ダンス・水泳	フットサル・ダンス・水泳	タグラグビー・剣道
3年次	バスケットボール・水泳	バドミントン・水泳	バレーボール

3. 学習の進め方

〈保健〉

- ・各分野とも本校の独自プリントによる学習が中心
- ・実習や実験などを導入
- ・グループ学習、討論

〈体育〉

- ・中1の最初に、「吉祥体操」を習得し、6年間の体育の準備体操に使用します。
- ・6月上旬から9月中旬まで水泳を実施します。基礎的な泳法を中心に練習し、各自

の泳力に合わせて検定を行います。

- ・1学期末は球技大会の練習、2学期始めは運動会の練習を水泳と並行して行います。

4. 学習計画（1）

教科	保健体育	分野	保健	週あたりの授業時数	1時間	担当
使用教材	『保健体育』大修館 プリント					
時期	単元		単元の内容			
1学期 4月 5月 6・7月 1学期 予定時数 _____	オリエンテーション 運動の必要性 骨格と筋肉		<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の説明 ・体力の種類と運動の必要性 ・骨格と骨格筋の連携 			
2学期 9月 10月 11・12月 2学期 予定時数 _____	運動会の練習 性教育オリエンテーション 多様な性について 女性のからだ 月経		各種目練習 <ul style="list-style-type: none"> ・導入 ・一人一人異なる性と生 ・からだの発達・発育 ・思春期の性と心 ・女性のからだ－内性器 ・女性のからだ－外性器 <ul style="list-style-type: none"> ・月経の仕組み ・月経の処置 ・月経困難症 			
3学期 1月 2・3月 3学期 予定時数 _____	男性のからだ 性交・避妊		<ul style="list-style-type: none"> ・男性のからだ－内性器 ・男性のからだ－外性器 ・勃起と射精 ・性交 ・避妊 			

4. 学習計画（2）

教 科	保健体育	科 目	体 育	週あたりの授業時数	2 時間	担当
使用教材						

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月 5 月 6・7 月 1 学期 予定時数 ――	オリエンテーション 基礎運動 吉祥体操 総合運動 ----- 球技大会練習 水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内容の説明 ・ 集団行動 ・ 吉祥体操の各動き ・ ボール運動 ・ ドッジボール・バスケットボール・卓球 ・ クロール・平泳ぎ
2 学期 9 月 10 月 11・12 月 2 学期 予定時数 ――	水泳 運動会練習 ----- ネットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ クロール・平泳ぎ ・ 各種目練習 ・ ハンドリング ・ 各種シュート ・ グループ練習 ・ 班対抗ゲーム
3 学期 1 月 2・3 月 2 学期 予定時数 ――	卓球	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォアハンドストローク ・ バックハンドストローク ・ サーブ ・ ダブルスゲーム

音 楽

Syllabus

年間学習計画



国 語

社 会

数 学

理 科

英 語

保健体育

音 楽

美 術

技術・家庭

1. 学習の目標

- ①音楽活動に、自らの心を開いて主体的に取り組むことによって、豊かな情操を養う。
- ②音楽に対する愛好心や、素晴らしいものに触れたとき、素直に感動できる豊かな感性を身につける。
- ③合唱および合奏など、集団で音楽を作り上げていく体験を通して、一個人としての自分、また集団の中における自分の役割を自覚し、より豊かなハーモニーづくりに貢献する姿勢を学び、社会性を身につける。

2. 学習の内容

各分野において、中1では基本をしっかりと学び、学年が上がるごと、より専門的な内容へと発展させていきます。

3. 学習の進め方

① 授業

[歌唱] 中1は基本的な発声を学び、校歌をはじめとする日本語のうたを取り上げ歌います。中2は一人ひとりの変声を考慮しつつ、日本の代表的な歌曲を取り上げ、詩の解釈や曲の情景を考えて歌うようにします。中3は身体の成長に伴って、本格的な声が出るようになるので、イタリア歌曲を中心に歌い、声楽の世界を体感します。

[鑑賞] 中1は音楽史に沿って各時代の名曲を取り上げ、音楽の構造や、時代背景・風土・文化・歴史を理解し、より身近に音楽を感じる愛好心を身につけます。中2・中3は器楽および歌唱で扱っている曲を、より明確に理解できる鑑賞内容を取り上げます。中1では邦楽の演奏家を招き、息遣いの感じられる距離で、生の演奏を聴くことで、音楽をより身近に体感します。

[器楽] 中1はヴァイオリンを扱い、初心者を対象とした授業です。楽器に触れることから始め、扱い方、楽器の構造、歴史的背景など、弾くだけでなく総合的に楽器について学びます。中2は基本奏法の定着を図るとともに、ヴィオラやチェロを導入して弦楽合奏につなげます。

② 補習

希望者のみ。実技試験1ヵ月前から、第2音楽室を昼休みに開放します。

◆ 進路にむけて ◆

音楽大学などを志望する生徒は、高校2年から音楽に比重を置いた科目選択ができ、各実技分野の専門家から直接指導を受け、専門性を高めていくことができます。

4. 学習計画（1）

教科	音楽	科目	歌唱・鑑賞	週あたりの授業時数	1時間	担当
使用教材	『中学生の音楽1』教育芸術社 『フェアリーコーラス』教育芸術社 『音楽通論』教育芸術社					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月	オリエンテーション（クラス全員） 「校歌」 フェアリーコーラスより 「君をのせて」 「Believe」	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の説明 ・正しい発声の基本について ・鼻濁音を正しく発音する。
	ヴィヴァルディ「四季」より 春	<ul style="list-style-type: none"> ・バロックの作曲家について ・作曲者および、背景となる風土・文化・歴史を理解する。 ・曲の構造、使用楽器について
	5月 フェアリーコーラスより 「旅立ちの日に」	<ul style="list-style-type: none"> ・腹式呼吸と胸式呼吸について
	6・7月 音楽通論「楽譜のしくみ」	<ul style="list-style-type: none"> ・音符・休符の長さ
1学期 予定時数 ——	音楽通論「音の高さ」	<ul style="list-style-type: none"> ・音名 ・譜表 ・1学期の総復習 ・鑑賞を通して生じた感情の変化や、音楽の構造と曲想の関わり等、ノートにまとめ提出 <p style="text-align: center;">【第2回定期考査】</p>
2学期 9月	発声のポイント フェアリーコーラスより 「カリブ夢の旅」	<ul style="list-style-type: none"> ・S・H・I・N・Eについて ・共鳴させることについて
	ハイドン 交響曲第94番ト長調 「驚愕」	<ul style="list-style-type: none"> ・古典派の音楽について ・作曲者および、背景となる風土・文化・歴史を理解する。 ・ト短調の音階について ・オーケストラについて

10月	フェアリーコーラスより 「少年時代」 「翼をください」	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな響きを意識する。 ・子音と母音の発音 ・無声音について
11・12月 2学期 予定時数 _____	モーツァルト 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」 シューベルト 「魔王」 「邦楽」に触れよう 【第4回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・作曲者および、背景となる風土・文化・歴史を理解する。 ・楽器の役割 ・ロマン派の音楽について ・ソプラノ・テノール・バリトン歌手の聴き比べ ・詞の内容を理解する ・詞と音楽の関係について ・邦楽鑑賞と楽器に触れる
3学期 1月	合唱コンクールの練習	<ul style="list-style-type: none"> ・課題曲を決める。 ・パート分け ・パートリーダー・指揮者・伴奏者を決める ・音を取る。
2・3月 3学期 予定時数 _____	雅楽「越天楽今様」 合唱コンクールの練習 【第5回定期考査】	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽について ・使用楽器、演奏者、文化歴史について ・曲の仕上げ ・ステージマナーを学ぶ。 ・1年間の総まとめ ・鑑賞を通して生じた感情の変化や、音楽の構造と曲想の関わり等、ノートにまとめ提出 ・2年日以降の授業について

4. 学習計画（2）

教科	音楽	科目	器楽	週あたりの授業時数	1時間	担当
使用教材	『中学生の音楽1』教育芸術社 独自プリント					

時期	単元	単元の内容
1学期 4月	オリエンテーション（クラス全員） ・楽器の構造を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴァイオリンの授業内容説明 ・楽器の取り扱い、手入れの方法などの説明 ・f字孔および表板から、魂柱を通して音が振動する様を体感する。
5月	ヴァイオリンの基本練習 ①	<ul style="list-style-type: none"> ・肩当てをつける、楽器を構える。 ・弓の張り方・持ち方・松脂の扱い ・左手の正しい構え方・練習用ビデオで確認
6・7月	ヴァイオリンの基本練習 ② ボーイングの練習 弦楽器の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・（続）左手の正しい構え方 ・全弦を開放弦でボーイングする。 ・4拍→2拍1拍のカウントで変化させる。 ・全弓→中央弓を使う。 ・ヴァイオリン以外の弦楽器について学ぶ。
	「Ten o'clock rock」を弾く	<ul style="list-style-type: none"> ・A線の導入、「Ten o'clock rock」の練習
	ヴァイオリンの基本練習 ③ 弓の方向を知る 音楽の基礎知識 ドイツ音名 「Ten o'clock rock」を仕上げる 【実技試験】	<ul style="list-style-type: none"> ・アップボウ・ダウンボウを意識する。 ・「Ten o'clock rock」を仕上げる。 ・ドイツ音名で幹音と派生音を学ぶ。 ・指番号と音を一致させる ・1学期の総復習
1学期 予定時数 _____		
2学期 9月	1学期までの復習 「Ten o'clock rock」の復習 イ長調の音階練習	<ul style="list-style-type: none"> ・癖がつかないように、基本を確認する。 ・音楽の基礎知識の復習 ・E線の導入 イ長調の音階を1オクターブ ・弦と右肘の高さを意識する。

<p>10月 11・12月</p>	<p>イ長調、ト長調、ニ長調の音階練習 「きらきら星 主題」を弾く 世界の民族音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ A線と E線の指番号を理解する。 ・ 「きらきら星」の調性を理解する。 ・ 全弓、中央弓の他に、先半弓 ・ 元半弓も使い分ける。 ・ 世界の諸民族の音楽に触れる。
<p>2学期 予定時数 _____</p>	<p>「きらきら星 変奏曲」を弾く イ長調、ト長調、ニ長調の音階練習</p> <p style="text-align: center;">【実技試験】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主題と変奏曲を通して演奏する。 ・ 総仕上げ ・ 2学期の総復習
<p>3学期 1月</p>	<p>合唱コンクールの練習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題曲を決める。 ・ パート分け ・ パートリーダー・指揮者・伴奏者を決める。 ・ 音を取る。
<p>2・3月 3学期 予定時数 _____</p>	<p>合唱コンクールの練習</p> <p style="text-align: center;">【実技試験】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の仕上げ ・ ステージマナーを学ぶ。 ・ 1年間の総まとめ ・ 2年日以降の授業について

美術

Syllabus

年間学習計画



国語

社会

数学

理科

英語

保健体育

音楽

美術

技術・家庭

1. 学習の目標

- ①人物や風景などの対象物をよく観察して正確に描く能力や、イメージしたものを平面や立体作品として完成させる表現能力を培う。
- ②アイデアを膨らませて、ひとつの形へとまとめ完成させる、デザインの能力を培う。
- ③創意と工夫によって日常で使用できる工芸作品を、自らの手で造形する能力を培う。
- ④美術やデザイン作品に興味をもち、それらを尊重し大切にする精神と鑑賞力を養う。

2. 学習の内容

中学の美術では、様々な分野に亘って基礎的な学習を行いますが、吉祥オリジナルな教材を扱うため、年度により扱う内容に変化があります。従って、このシラバスに取り上げている内容も参考の一例と考えて下さい。

実際の内容は年度最初の授業時に「年間カリキュラム」が配布され、担当教員より詳しい解説があります。この数年間で取り上げた内容を参考に記すと、中1では「詩を絵にする」「創作熟語による文字デザイン」「木彫手鏡」「モザイク」「自画像と私の生活」「自然の贈り物細密画」「ユーモアパッケージのイラストレーション」。中2では「陶芸 花器」「陶芸 好きな器」「動物の塑像」「理想のお弁当塑像」「創作切手細密画」「メタモルフォーゼによる自画像」「立体慣用句人間」。中3では「絵本」「四面絵画」「蔵書票」「多色版画」「版画カナダツアーの思い出」「版画中学校生活の思い出」などがあります。

3. 学習の進め方

① 授業

授業ごとにカリキュラムの内容に関わる資料と制作日程のプリントを配布し、制作の目標を明確にして授業を展開します。また生徒一人一人に細かなアドバイスをしながら全体的にレベルアップしていきます。

② 補習

欠席などで制作が遅れ気味な生徒への指導は、放課後を利用して積極的に行います。

③ 鑑賞

校内展示を随時行うとともに、展覧会や展示会の紹介を通じて、作品を鑑賞する力を身につけます。

◆ 進路にむけて ◆

美術大学などを志望する生徒は、高校2年から美術に比重を置いた科目選択ができ、各実技分野の専門家から直接指導を受け、専門性を高めていくことができます。

4. 学習計画

教科	美術	週あたりの授業時数	2時間	担当
使用教材	『美術1』光村図書			

時期	単元	単元の内容
1学期 4月 5月 6月 7月 1学期 予定時数 _____	タイポグラフィーとデザイン (創作熟語など) ※年度により内容に変化があります (1) オリエンテーション (2) 制作① (3) 制作② (4) 制作③	・年間カリキュラムの説明 ・概論と技法解説 ・実制作の工程 (以下同じ)
2学期 9月 10月 11月 12月 2学期 予定時数 _____	工芸 (モザイクや木彫など) ※年度により内容に変化があります (1) オリエンテーション (2) 制作① (3) 制作② (4) 制作③	・概論と技法解説 ・実制作の工程 (以下同じ)
3学期 1月 2月 3学期 予定時数 _____	絵画 (自画像・細密画など) ※年度により内容に変化があります (1) オリエンテーション (2) 制作	・概論と技法解説 ・実制作の工程 (以下同じ)

技術・家庭

Syllabus 年間学習計画



国語

社会

数学

理科

英語

保健体育

音楽

美術

技術・家庭

1. 学習の目標

衣食住などに関して、実習を中心に学習内容を定着させ、日常生活で実践できる力を養う。また、消費生活に関する契約トラブルや、環境問題への自分自身の取り組みを話し合うなど、身近な問題として考える。

2. 学習の内容

〈中1〉

1・3学期は家庭分野、2学期は技術分野を学習します。1学期は、食生活について学習し、自分の食習慣を見直し、中学生に必要な食の知識を身につけ、調理実習も行います。2・3学期は、ものづくりを通して、生活と技術の関わりについて考えます。2学期は、木材の性質や種類について学び、さらに木製品を製作し、生活に役立っています。3学期は、身近な手芸を衣文化の観点から見直し、かぎ針編みの基本技術を習得し、作品製作を行います。

〈中2〉

被服製作実習、調理実習を通して、衣・食に関する基本技術の習得を目指します。また、健康で安全な生活をするために、1年次に学習した内容を発展させ、基本的な衣・食の知識を身につけます。

〈中3〉

衣生活について1・2年次に学習した内容を発展させ、住生活についても生活に関わる問題について学習し、知識を深めます。また、消費者の視点で環境問題をとらえ、消費者として何ができるか考え実践します。

3. 学習の進め方

① 授業

講義や実習などを通じて、知識と技術を身につけます。新聞記事やテレビのニュースなどを必要に応じて取り上げ、身近な問題として学習する機会を設けます。

② 補習

編み物実習、木材加工実習、被服実習で作業が遅れている生徒を対象に放課後、補習を実施します。

4. 学習計画

教 科	技術・家庭	週あたりの授業時数	2 時間	担当
使用教材	「技術・家庭」技術分野、家庭分野 開隆堂			先生

時期	単 元	単 元 の 内 容
1 学期 4 月	【導入】「自分の成長と家族・家庭生活」 食生活	毎日の食事内容や自分の食習慣を点検し、健康的な食生活の実現を目指す。 栄養素について学習し、栄養と食べ物と健康の関係を理解する。
5 月	1. 健康と食生活 2. 栄養素の種類とはたらき	
6 月	3. 食品と栄養素 4. 中学生の発育の特徴 5. 食事摂取基準 6. 食品群別摂取量のめやす 【第 1 回定期考査】	中学生は一日に何をどれだけ食べればよいかを知り、実践できる力を養う。 調理実習をとおして、食品の調理上の性質を理解し、調理技術の基本を習得する。実習内容の栄養バランスを点検し、さらに食事の献立を考えて、一日の栄養バランスの整え方を知る。
7 月	7. 食品の性質と調理 8. 調理実習（2回） 9. 食事の栄養バランスの点検 10. 一日の食事の栄養バランスの整え方 【第 2 回定期考査】	
1 学期 予定時数 ———		
2 学期 9 月	木工 1. 生活と技術 2. 木材の組織と性質	木材の加工実習を行い、材料や用具を適切に用いて、生活に役立つものを製作する。木の種類や用途について学習し、身の回りの木製品について理解を深める。
10 月	3. 木材加工実習 ①手順、材料、工具 ②作品製作	
11 月	③立体図に表す (キャビネット図、等角図など)	身近な木製品の例をあげ、木材の組織の性質について学び、他の材質との違いを理解する。
12 月	4. 木の種類と用途 5. 身近な製品の材質と性質 【第 4 回定期考査】	
2 学期 予定時数 ———		

<p>3学期 1月</p> <p>2月</p> <p>3月 3学期 予定時数 _____</p>	<p>衣生活 I</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 手芸の歴史と種類 2. 編み物の歴史 3. かぎ針編みの基礎 4. かぎ針編みの作品製作 5. 布の構成 6. 繊維の種類と特徴 7. 品質表示の見方と活用 <p style="text-align: center;">【第5回定期考査】</p>	<p>実用と装飾という特徴を併せ持つ、代表的な手芸を紹介し、生活との関わりを理解する。</p> <p>編み物の基本を練習し、さらに作品の製作をとおして、袋ものの製作方法を学ぶ。</p> <p>繊維の種類と特徴、品質表示についても学び、適切な取り扱いや手入れができることを目指す。</p>
--	---	---

(参考)
 (2020年度入学生高等学校教育課程表)

教科	学年 科目	1 年				2 年				3 年			
		共通	文系	芸術系	理系	文系		芸術系	理系	自由選択			
						国公立	私立						
国語	国語総合	5											
	現代文B		3	3	2	3	4	3	2	②			
	古典B		3	3	2	3	4	3	2	②			
地歴	国語演習												
	世界史A	2											
	世界史概説		※②										
	世界史B		③			⑤	⑤			④			
	日本史A		②			⑤	⑤						
	日本史B		③			⑤	⑤			④			
	地理A		②	2	2					②			
	地理B									④			
公民	世界史B A A史						③						
	日本史B 近世史						③						
数学	倫理		2	2	2					②			
	政治・経済	2								②			
	数学Ⅰ	3											
	数学Ⅱ		3		4								
	数学Ⅲ								④	②			
	数学A	3											
	数学B		3		2								
	数学Ⅱ演習					③				④			
共通テスト数学Ⅱ					③								
数学B演習					③				③				
共通テスト数学B					③								
数学演習									③				
理科	物理基礎	2											
	物理				③					④			
	化学基礎	2	1										
	化学基礎演習					1							
	化学				4				4				
生物基礎	2	1											
生物基礎演習					1								
生物				③					④				
保健	体育	2	2	2	2	3	3	3	3				
	保健	2											
芸術	音楽Ⅰ	②											
	美術Ⅰ	②											
	音楽Ⅱ			④									
	美術Ⅱ			④									
	音楽Ⅲ							④					
	美術Ⅲ							④					
	音楽専門			⑦				⑦					
	美術専門			⑥				⑥					
美術・デザイン史			①				①						
ソルフェージュ									②				
美術									④				
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4											
	コミュニケーション英語Ⅱ		4	4	4								
	コミュニケーション英語Ⅲ					4	4	4	4	②			
	英語表現Ⅰ	2											
英語表現Ⅱ		2	2	2	3	3	3	3					
私文総合英語演習						3							
家庭	家庭基礎		2	2	2								
情報	社会と情報		2	2	2								
総合的な探究の時間		1	1	1	1	1	1	1	1				
合計		34	34	34	34	30	30	28	30	0~6			
特別活動		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)				

※2・3年次文系生徒の地歴選択世界史・日本史・地理のうち2科目履修します。2年次に3単位履修した科目を3年次に国公立文系では5単位、私立文系では8単位(5+3)履修します。2年次に2単位履修したA科目は、必要に応じ、3年次に同一B科目を自由選択科目(4単位)で履修します。

*教育課程表の数字は、各科目の単位数をあらわしています。例えば1年次の国語総合の5は5単位のことで、1週あたり5時間の授業があり、1年間履修して認定されれば5単位修得したことになります。本校を卒業するためには、88単位以上修得する必要があります。

*○印は選択科目です。

*教育課程は変更することがあります。

*「総合的な探究の時間」は年間を通して週1時間相当の時数分を行います。

年間学習計画

2020 Syllabus



吉祥女子中学・高等学校

〒180-0002

東京都武蔵野市吉祥寺東町 4-12-20

☎ 0422(22)8117

中学 1 年 組 番 氏 名
